

舟入高校創立記念日（5月9日）特集

舟入アーカイブス

（下左）創立当時の本館。昭和27年頃。正門から西を望む。大正15年に建てられた校舎。当時、正門は現在の東門付近にあった。

（下中）門柱が現在の正門付近にモニュメントとして残されている。

（下右）市女時代からの松。被爆したが、現在も葉を繁らせている。本館前に写っている松のうちのもう一本かもしれない。



（左）昭和29年頃 南西を望む。北側の塀は市女時代からのもので、爆風によって傾いている。この塀は、平成9年までこの場所（現在の北門付近）にあったが、新校舎の建築に伴い解体され、一部が正門付近に移設、保存されている。



（右）昭和37年頃。2代目本館。正門が現在の位置に移っている。北側の用地に本館と講堂が建っている。グラウンドに旧体育館が見える。





(上) 昭和47年頃。木造校舎の向こうに2号館が見える。手前が、アカシア並木。この木造校舎は取り壊されるが、アカシア並木は平成9年までこの場所に残される。
(左) アカシア並木の木陰、石のベンチで語る。このベンチは長らく東門付近に打ち捨てられていた石の再利用という。初代本館玄関の階段に使われたものか？



(左) 昭和53年頃。2号館とアカシア並木。アカシア並木との位置関係から石製のベンチの位置が移動しているのがわかる。なお、アカシア並木のうち2本が正門付近に移植されている。石のベンチも移設されている。

(下) 移植されたアカシア



(下) 移設された石のベンチ

